



SPA または SIP を取り付けるための 準備

June 2008, OL-9175-05-J

この章では、SPA Interface Processor (SIP; SPA インターフェイス プロセッサ) および Shared Port Adapter (SPA; 共有ポート アダプタ) を取り付けるために必要な機器、安全上の注意事項、および設置場所の準備について説明します。この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [安全に関する注意事項 \(p.3-2\)](#)
- [静電破壊の防止 \(p.3-4\)](#)
- [必要な工具および部品 \(p.3-4\)](#)

安全に関する注意事項

このマニュアルに記載されている作業を開始する前に、人身事故または機器の損傷を防ぐために、ここで説明する安全に関する注意事項を確認してください。

人身事故または機器の損傷を防ぐために、次の注意事項に従ってください。これらの注意事項は、危険な状況をすべて網羅しているとは限らないので、作業に際しては十分に注意してください。

- 安全上の警告 (p.3-2)
- 電磁適合性に関する規制事項 (p.3-2)
- 電気機器を扱う際の注意事項 (p.3-2)
- 電話回線を扱う場合の注意 (p.3-3)
- レーザー /LED の安全性 (p.3-3)

安全上の警告



(注)

ラインカードの取り付け、設定、またはメンテナンスを行う前に、ルータに付属の『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco XR 12000 Series Internet Router*』(Text Part Number : 78-4347-xx) に記載されている安全上の警告を確認してください。

- 取り付け作業中および取り付け後、作業場所周辺は、できるだけ埃のない清潔な状態に保ってください。レーザーを使用するコンポーネントに埃や塵が入らないようにしてください。
- ラインカードの作業時には、ルータに引っ掛かるような衣服や、指輪やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
- シスコ製の機器は、仕様および製品の使用手順に従って使用した場合に、安全に稼働します。

電磁適合性に関する規制事項

電磁適合性に関する規制事項は、ルータに付属の『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco XR 12000 Series Internet Router*』(Text Part Number : 78-4347-xx) に記載されています。SIP または SPA の取り付け、設定、またはメンテナンスを行う前に確認してください。

電気機器を扱う際の注意事項

電気機器を取り扱う際には、次の基本的な注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を行う前に、室内の緊急電源遮断スイッチがどこにあるかを確認しておきます。
- シャーシを移動する前に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外してください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 回路の電源が切断されていると思いつまらず、必ず確認してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや保護アースの不備などがないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。

電話回線を扱う場合の注意

電話回線または他のネットワーク配線に接続されている装置を取り扱う場合には、次の注意事項に従ってください。

- 雷が発生しているときには、電話線の接続を行わないでください。
- 防水設計されていない電話ジャックは、湿気の多い場所に取り付けしないでください。
- 電話回線がネットワーク インターフェイスから切り離されている場合以外、絶縁されていない電話ケーブルや端子には、触れないでください。
- 電話回線の設置または変更は、十分注意して行ってください。

レーザー /LED の安全性

モジュールのシングルモード トランスミッタは小容量レーザーを使用して、光信号をネットワーク リングに送信します。ケーブルが接続されていない送信ポートには、必ずカバーを付けてください。マルチモード トランシーバは通常、LED を使用して送信を行います。未使用のポートには必ずカバーを付け、未使用ポートまたは開口部を凝視しないようにしてください。シングルモード ポートの開口部には、レーザーの警告ラベルが貼付されています (図 3-1 を参照)。

図 3-1 シングルモード ポート用レーザー警告ラベル



警告

光ファイバ ケーブルが接続されていない場合、シングルモード製品の開口部からは、目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光にあたらないように、開口部をのぞきこまないでください。



警告

クラス1 レーザー製品です。

マルチモード ポートの開口部には、クラス1 LED の警告ラベルが貼付されています (図 3-2 を参照)。

図 3-2 マルチモード ポート用クラス1 LED 警告ラベル



**警告**

光ファイバ ケーブルが接続されていない場合、ポートの開口部から目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光にあたらないように、開口部をのぞきこまないでください。

**警告**

クラス 1 LED 製品です。

静電破壊の防止

ESD により、装置や電子回路が損傷を受けることがあります（静電破壊）。静電破壊は電子部品の取り扱いが不適切な場合に発生し、故障または間欠的な障害をもたらします。EMI（電磁波干渉）シールドは、ラインカードを構成する部品です。ネットワーク機器またはそのコンポーネントを取り扱うときは、必ず静電気防止用ストラップを着用してください。

ESD による損傷を防ぐために、次の注意事項に従ってください。

- 静電気防止用リストまたはアンクルストラップを肌に密着させて着用してください。接続コードの装置側をルータの ESD 接続ソケット、またはシャーシの塗装されていない金属部分に接続します。
- SIP を取り扱うときは、非脱落型ネジ、提供されたハンドル、イジェクトレバー、またはラインカードの金属製フレームだけを持ってください。基板またはコネクタピンには手を触れないようにしてください。
- 取り外した SIP は、基板側を上向きにして、静電気防止用シートに置くか、静電気防止用袋に収めます。コンポーネントを返却する場合は、取り外した後、ただちに静電気防止用袋に入れてください。
- SIP と衣服が接触しないように注意してください。リストストラップは身体の静電気から基板を保護するだけです。衣服の静電気が、静電破壊の原因になることがあります。

**警告**

安全のために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ～ 10 MΩ でなければなりません。

必要な工具および部品

SIP の着脱には、次の工具および部品が必要となります。

- マイナスドライバまたはプラスドライバ
- 静電気防止用リストまたはアンクルストラップおよび取扱説明書
- SIP を別のルータまたはスイッチに接続するためのインターフェイスケーブル